

映画で知ろう!

移民・難民

2019年4月の改正入管法施行で、日本はより多くの移民を受
入れます。国境を超える人の移動と移民・難民の暮らし
について、映画を見ながら一緒に学びませんか。
静岡県立大学国際関係学部の教員が厳選した
映画を上映し解説します。



第1回

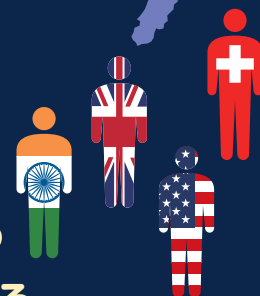
10
/
5



在日ブラジル人
～サッカーがつなく
家族と友情

第2回

11
/
16



国境を超える
インド人の恋愛模様

第3回

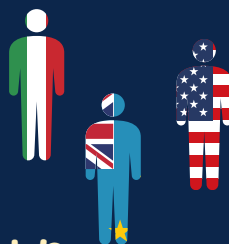
12
/
14



シンガポールで働く
フィリピン人
家事労働者の想い

第4回

1
/
11



気候変動により
故郷を失う人びと

第5回

1
/
25



アメリカで暮らす
ベトナム難民の望郷

開催日：2019年10月5日(土)、11月16日(土)、12月14日(土)、
2020年1月11日(土)、1月25日(土)

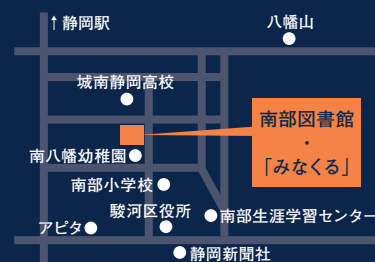
時間：いずれも9:30 開場、9:45 解説開始、10:00 本編スタート、12:00 まで

会場：静岡市立南部図書館 2階 視聴覚ホール(静岡市駿河区南八幡町3-1)

入場無料 定員：50人(事前申し込みを優先)

申込方法：窓口・電話・FAX・メールのいずれかで【参加希望日、お名前、緊急連絡先】をお知らせください。
TEL 054-201-9010 FAX 054-201-9020 メール mina.cccrc@u-shizuoka-ken.ac.jp
※FAX、メールの場合は、件名を「映画上映参加希望」としてお送りください。

主催：静岡県立大学グローバルスタディーズ研究センター(CEGLOS)
共催：静岡市(地域福祉共生センター「みなくる」～地域健康オープンカレッジ2019～)



詳細は裏に



第1回：在日ブラジル人～サッカーがつなぐ家族と友情

2019年10月5日

●解説者：澤田敬人(国際関係学部教授)・宮地克徳プロデューサー

●映画タイトル：サンゴヨン☆サッカー(2015年)

●映画の舞台：日本 ●言語：日本語音声、ポルトガル語字幕 ●上映時間：64分

●テーマ：ブラジルから日本へ帰国した父親と娘の家族の絆と、国境を超えたブラジル人の友情を描く。

●解説者からのメッセージ：日本有数のブラジルタウン・群馬県大泉町を舞台にした市民協働参画型「まち映画」です。スペインのトマト祭り等をアイデアとして採用し公道を使ったイベント「サンゴヨン☆サッカー」を共生の観点から堪能してください。



澤田敬人

宮地克徳



第2回：国境を超えるインド人の恋愛模様

2019年11月16日

●解説者：富澤かな(国際関係学部准教授)

①映画タイトル：Dilwale Dulhania Le Jayenge (DDLJ 勇者は花嫁を奪う) (1995年)

●映画の舞台：イギリス・スイス ●言語：ヒンディー語音声、英語字幕 (講師が補足します)

●テーマ：インド系イギリス移民がヨーロッパとインドで繰り広げる恋の行方は？

②映画タイトル：Kabhi Kushi Kabhie Gham... (家族の四季—愛すれど遠く離れて—) (2001年)

●映画の舞台：イギリス ●言語：ヒンディー語音声、日本語字幕

●テーマ：3組の大スターの豪華競演でインドとイギリスを舞台に描く家族の愛と再生の物語。

③映画タイトル：Kal Ho Na Ho (たとえ明日が来なくても) (2003年)

●映画の舞台：アメリカ ●言語：ヒンディー語音声、日本語字幕

●テーマ：NYを舞台に3人の男女が織りなす友情と成長と恋、そして別れを描く感動作。

④映画タイトル：My Name is Khan (マイ・ネーム・イズ・ハーン) (2010年)

●映画の舞台：アメリカ ●言語：ヒンディー語音声、日本語字幕

●テーマ：アスペルガー症候群のムスリム青年のNYでの愛と生活は9.11事件で大きく変わり…。

●上映時間：インド映画は1本が2～3時間と長いので、各映画の一部をお見せしながら解説します。



富澤かな

●解説者からのメッセージ
娯楽映画はインドが誇る文化です。名作映画の記憶は幾重にも重なって、多様性に満ちたインド世界の共通語彙を形作ってきました。シャー・ルク・カーン主演の名作恋愛映画4本で、在外インド人の物語をたどります。



第3回：シンガポールで働くフィリピン人家事労働者の想い

2019年12月14日

●解説者：石井由香・高畑幸(いずれも国際関係学部教授)

●映画タイトル：イロイロ～ぬくもりの記憶 (2013年)

●映画の舞台：シンガポール ●言語：英語音声、日本語字幕 ●上映時間：99分

●テーマ：アジア通貨危機後のシンガポール人家庭で働くフィリピン人家事労働者と子どもの心のふれあいと別れ。

●解説者からのメッセージ：シンガポール人監督が自分の幼少時代の経験をもとに、移民家事労働者と雇用主家族の関係、雇用主家族の人間関係をたくみに描いています。シンガポールの「今」にもつながる社会、家族のあり方を知ることができる映画です。



石井由香

高畑幸

©2013 SINGAPORE FILM COMMISSION, NP ENTERPRISE (S) PTE LTD, FISHEYEPICTURES PTE LTD



第4回：気候変動により故郷を失う人びと

2020年1月11日

●解説者：湖中真哉(国際関係学部教授)

●映画タイトル：ビューティフル アイランズ～気候変動 沈む島の記憶～(2009年)

●映画の舞台：ツバル、イタリア、アメリカ ●言語：英語・イタリア語他音声、日本語字幕

●上映時間：106分

●テーマ：気候変動で水没の危機に瀕している地域の失われゆく生活と文化を綴るドキュメンタリー。

●解説者からのメッセージ：この映画では、南太平洋のツバル、イタリアのベネチア、アラスカのシマレフ島で、故郷を愛して生きる人々の普通の暮らしが気候変動によって失われる危機にあることを描いており、環境難民の悲哀を伝えています。



湖中真哉



第5回：アメリカで暮らすベトナム難民の望郷

2020年1月25日

●解説者：下條尚志(国際関係学部助教)

●映画タイトル：ベトナムを懐(おも)う (2017年)

●映画の舞台：ベトナム、アメリカ ●言語：ベトナム語・英語音声、日本語字幕

●上映時間：88分

●テーマ：難民が抱える苦悩と世代間葛藤は、家族の過去との対話の中でどう乗り越えられるか。

●解説者からのメッセージ：20世紀ベトナムは戦争や社会主義を背景に、多くの難民を世界へ排出しました。難民が移住地で抱える苦悩と世代間葛藤を、ベトナム本国の映画監督が取り上げた意義は大きいです。その目的は難民各世代の対話、また難民と母国の人々の対話です。



下條尚志